



さわやかに 2 学期がスタート！

校長 高瀬 知郎

第 76 回 体育大会 大成功！

夏休み明け間もない 9 月 7 日、朝のうちは台風が通り過ぎた後の小雨が残っていましたが、開会式が始まると同時に劇的に雨が上がり、快適な体育大会日和となりました。「四神激突～みたい景色は何色だ～」のスローガンのもと、子供たちは競技に応援に、思い切り力を発揮し、心に残る最高の体育大会となりました。閉会式後の解団式では、各団のリーダーから団員への思いのこもった言葉が涙とともに語られ、どの団も温かい拍手に包まれていました。勝ち負けを超えたところにある美しい景色が、グラウンドに描かれた各団の大きな輪の中に広がっているようでした。



後日、子供たちが体育大会を通して得た学びの一端を、3 学年フロアの掲示の中に見つけました。1 年生団員から 3 年生団員に宛てて書いたメッセージです。一枚一枚読んでみると、そこには 3 年生への感謝と尊敬があふれていました。そして、「こんなに素敵な 3 年生に自分もなりたい」という 2 年後の自分への願いが素直な筆で綴られています。きっと 3 年生もうれしい気持ちで読んでくれたことでしょう。このようにして雄中学生は、先輩から後輩へと大切なものをしっかりと受け継ぎながら、誇るべき学校の文化を継承しているのです。

後日、子供たちが体育大会を通して得た学びの一端を、3 学年フロアの掲示の中に見つけました。1 年生団員から 3 年生団員に宛てて書いたメッセージです。一枚一枚読んでみると、そこには 3 年生への感謝と尊敬があふれていました。そして、「こんなに素敵な 3 年生に自分もなりたい」という 2 年後の自分への願いが素直な筆で綴られています。きっと 3 年生も



「自学力」を鍛えよう！

次なる目標は、やはり学習ですね。3 年生は卒業後の新しい道を切り拓くため、1, 2 年生は尊敬される上級生になるために、本気で勉学に取り組む季節となりました。残念なことには現在の雄中学生は、学力向上のために大切な「家庭学習」と「読書」の時間が県や全国の平均と比べてかなり少ないことが各種調査からわかってきました。反対に、スマホ等で動画を見たりゲームをしたりする時間は非常に多いのです。つまり雄中学生には、学校では授業や行事、部活動に一生懸命に取り組むけれど、一度家に帰るとスマホやゲームに時間を奪われてしまっている人がたくさんいるのです。この誘惑に打ち勝ち、将来に向けて自分を鍛えていく力、それが「自学力」です。先生がいてもいなくても、怠け心に打ち勝って、今やるべき大切なことに自ら進んで立ち向かう力。その自学力を支えているのは、「克己心」と「向上心」です。将来の自分のため、家族のため、世の中の幸せのために、2 学期、一生懸命に勉学に取り組んでいきましょう！保護者・地域の皆様、雄中学生への応援をよろしくお願いします。

体育大会を終えて

9月7日に体育大会を行いました。各団の団長からの感想です。

体育大会では、たくさん感動する場面がありました。他の学年が競技をしているとき、率先して前に出てくれる1年生がいたり、パフォーマンスのとき、2年生が過去一番の声を出してくれたりして嬉しかったです。賞は一つしか取れなくて悔しかったけれど、心に残る体育大会でした。(坂上)

今年の玄武団は、とても温かい団でした。練習を重ねるごとに団のまとまりを感じ、嬉しかったです。本番のパフォーマンスにもとても感動しました。記録に残る結果は少なかったけれど、一言で言うなら、玄武団最高！本当にありがとうございました。(山本)

白虎団団長として、パフォーマンスをとくに頑張りました。全員で曲に合わせて踊ることがとても難しく、どのようにすればうまくまとめることができるかを悩みました。他の団リーダーに助けをもらい、白虎らしいとてもよいパフォーマンスができてよかったです。(石田)

体育大会は悔しい結果で終わりましたが、結果以上に大切なものを得ることができました。大変なことも多かったけれど、最後までやりきることができたのは、支えてくれる仲間が存在があったからです。本当にありがとうございました。(土田)

今年の朱雀団は、あまり賞を取れませんでした。大会当日まで、団のみんなで頑張ってきた過程が、自分にとって大切な宝物であったと思っています。1、2年生のみなさんは、後輩や来年入学してくる新入生に、カッコいい先輩の姿を見せてあげてください。(端)

私は、パフォーマンスの指導を頑張りました。団員をまとめて指導するのは大変でしたが、団のみんなが一生懸命についてきてくれて嬉しかったです。本番では、みんなが大きな声を出してくれて、素晴らしいパフォーマンスになってよかったです。(伊東)

中学校最後の体育大会で団長になって思ったことは、大勢の団員をまとめるのは大変だということです。とくにパフォーマンスの指導が難しく苦勞しました。けれど、団リーダーや団員のみんなと協力して、最高のパフォーマンスにすることができてよかったです。(上田)

青龍団の団長として、みんなの手本になれるよう、大きな声や素早い行動などを心掛けて団員の前に立ち、役目を果たせるよう努力しました。その成果が生かされ、青龍団が四冠を勝ち取ることができて嬉しかったです。(青木)

作文発表

8月29日の始業式で、各学年の代表が作文を発表しました。



「挑戦の2学期」1年 京塚

僕が2学期に頑張りたいことは三つあります。一つ目は体育大会です。中学校の体育大会は、小学校と比べて規模も迫力も違うと思います。3年生の先輩方にたくさんのことを教わりながら、雄山中学校の生徒として全力で取り組みます。今年の体育大会も新型コロナウイルスの影響で競技に限られますが、自分の出場種目に一生懸命取り組みたいです。また、団席から仲間を応援し、励まし合いながら良い思い出を作りたいです。二つ目は、合唱コンクールです。僕は指揮者に立候補しており、夏休み中も練習してきました。まずは、オーディションを頑張りたいと思います。もしオーディションに落ちてしまっても、クラスメイトと協力しながら素晴らしい合唱をつくり上げたいと思います。三つ目は、勉強です。特に歴史を頑張りたいです。1学期に歴史で世界の文明について学び、日本の文化との違いや、文化の交流についても学びたいと思ったからです。1学期に比べ、勉強の内容はどんどん難しくなっていくと思いますが、一つでも多く、自分の力にしていきたいです。2学期は挑戦する場面がたくさんあります。そのチャンスを逃さず、何事にも全力で取り組みます。そして、1学期から頑張ってきたことを継続しつつ、さらに成長し、楽しい学校生活を送りたいと思います。



「心に余裕を持つために」2年 安田

僕が2学期に頑張りたいことは、人として成長することです。そのため目の前の一つ一つのことを真剣に向き合い、全力で取り組んでいこうと思っています。僕が人として成長したいと思ったのには理由があります。人は努力して結果が出ると自信がきます。スポーツやゲームでも、大会でよい成績をとったり、友達から褒められたりすると、自信が生まれると思います。1年生の時、僕はクラスがうまくまとまっていなくて感じたとき、学級代表として自分が一番に声をかけるように意識しました。クラスの活動がうまくいくようになって、クラスメイトと協力しました。そのうち、みんなが、少しずつリーダーとして認めてくれると感じるようになりました。自分でもわりと仕事がうまくできているという実感がありました。それまでは、リーダーの経験がなく、自信がありませんでしたが、この経験は、僕の自信になりました。自信をもったことで、心にも余裕ができ、みんなとうまく話すことができるようになりました。

目の前のことを頑張る、結果を出すことで自信になる。自信をもつと、心に余裕が生まれる。このことに気付いた時、もっと人として成長したいと思いました。2学期は、1学期以上に勉強が難しくなり、リーダーとしても学校を引っ張っていかないとはいけません。大変なことも多いと思いますが、目の前のことに全力で取り組んでいきたいです。



「努力が実った夏」3年 佐伯

8月19日、僕は400M走で全国大会に出場することができました。はじめは、こんなにすごい大会に出場することができるとは思っていませんでした。2年生の頃、中野先生に練習をすれば必ず全中に行けると言われましたが、全中の標準記録の高さなどからあまり実感が湧きませんでした。しかし、練習を積み重ねた結果、3年生はじめの郡体で自己ベストを3秒以上回る52秒8という記録が出て、全中に出場したいという気持ちが一気に高まりました。その次の新川地区大会では大会新記録を出したり、県大会で記録を伸ばして北信越出場が決まったりして、自信が高まっていきました。そして、通信陸上大会でついに標準記録を突破。全中出場という夢を叶えることができました。今まで、野球クラブの練習や学習、学級三役等の仕事をしながら陸上の練習をするのは大変でしたが、諦めずに取り組むことができてよかったです。これからも何事にもベストを尽くし、陸上で培った諦めない気持ちを忘れずに入試に向けて頑張っていきたいです。



10月の行事予定

10月 1日(土) 県中学校駅伝大会
3日(月) 14歳の挑戦(2年生)(~7日)
4日(火) 1学年校外学習
10日(月) スポーツの日

12日(水) 中教研東部地区大会
(給食なし、午後放課)
17日(月) 中間考査(~18日)
学校納金口座振替日
26日(水) 生徒総会
28日(金) 合唱コンクール

